



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 不二製油株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 海老原 善隆

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 柳井 哲郎

TEL 03-5418-1044

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	116,520	8.2	6,013	△27.4	5,897	△27.1	3,956	△18.5
23年3月期第2四半期	107,643	5.2	8,283	4.8	8,084	8.1	4,855	1.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,938百万円 (31.2%) 23年3月期第2四半期 3,001百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	46.03	—
23年3月期第2四半期	56.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	181,337	106,307	55.7	1,174.82
23年3月期	174,435	103,220	56.4	1,143.82

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 100,988百万円 23年3月期 98,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,600	11.6	13,400	△19.2	13,000	△20.0	8,300	△15.2	96.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	87,569,383 株	23年3月期	87,569,383 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,608,826 株	23年3月期	1,608,781 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	85,960,587 株	23年3月期2Q	85,961,308 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた回復の兆しが見られるものの厳しい状況にあり、原子力発電所の事故に伴う電力不足や放射性物質問題も長期化の様相を見せております。また、円高・デフレ基調の長期化・雇用環境の低迷、欧米における金融不安の拡大など、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く食品業界でも、経済情勢不安による消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、また、主要原料価格や燃料価格等が引き続いて高値で推移するなど、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画「Global & Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」、「技術経営の推進」、「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,165億20百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は60億13百万円（前年同期比27.4%減）、経常利益は58億97百万円（前年同期比27.1%減）、四半期純利益は39億56百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、主要原料価格の上昇によりチョコレート用油脂の採算は悪化しましたが、ヤシ油・パーム油・調合油の販売が好調に推移し、増収・増益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受けて販売価格が下落し減収・減益となりました。パーム油は、原料価格が高値で推移し売上高は前年同期を上回りましたが、採算悪化のため減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は501億84百万円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益（営業利益）は20億76百万円（前年同期比39.4%減）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレートは、パン・流通菓子・冷菓用のスイートチョコ・カラーチョコの販売が減少し減収・減益となりました。マーガリン・ショートニングは、パン用が増加し増収となりましたが、原料価格の上昇により減益となりました。製菓・製パン素材輸入販売は、粉乳調製品・バター調製品が増加し増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート、マーガリン・ショートニングの東南アジアでの販売が好調に推移し売上高は前年同期を上回りましたが、原料価格上昇により採算が悪化し減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は480億39百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益（営業利益）は28億31百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

(大豆たん白部門)

国内では、大豆たん白素材が、米国ソレイ社との合弁解消により水産用途、健康食品用途の売上高が減少しましたが、冷食・惣菜用途、加工食品用途が好調に推移し、減収・増益となりました。大豆たん白機能剤は、加工食品用途・発酵培地用途の販売数量が増加しましたが、販売価格の下落により減収・増益となりました。大豆たん白食品は、即席麺市場・弁当給食市場向けが増加し増収となりましたが、利益面では前年同期を下回りました。豆乳の売上高は前年同期を上回り黒字を確保しました。

以上の結果、当部門の売上高は182億96百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益（営業利益）は11億5百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ69億2百万円増加し、1,813億37百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の増加9億68百万円、受取手形及び売掛金の増加21億15百万円、たな卸資産の増加44億10百万円、有形固定資産の減少11億75百万円、投資その他の資産の減少1億83百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ28億38百万円増加し、425億59百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当10億31百万円と四半期純利益39億56百万円により利益剰余金が29億26百万円増加したこと、及びその他の包括利益累計額の2億60百万円の減少等であります。

以上の結果、自己資本比率は55.7%、1株当たり純資産は1,174円82銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ8億60百万円増加、前第2四半期連結累計期間末に比べ2億71百万円減少し、77億2百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で21億81百万円減少し、25億25百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益57億22百万円、減価償却費43億36百万円、仕入債務の増加額11億13百万円等による収入が、たな卸資産の増加額43億12百万円、売上債権の増加額17億59百万円、法人税等の支払額26億30百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で7億92百万円支出が減少し、33億96百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出28億29百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で24億81百万円増加し、17億8百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純増加額15億36百万円、長期借入れによる収入27億5百万円、長期借入金の返済による支出14億39百万円、配当金の支払額10億31百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想に関する事項につきましては、本日平成23年11月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,864	7,832
受取手形及び売掛金	41,514	43,629
商品及び製品	18,149	19,612
原材料及び貯蔵品	16,431	19,378
繰延税金資産	1,022	1,289
その他	2,300	2,857
貸倒引当金	△116	△93
流動資産合計	86,166	94,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,196	28,977
機械装置及び運搬具（純額）	27,828	26,756
土地	15,576	15,584
建設仮勘定	2,207	2,340
その他（純額）	1,320	1,293
有形固定資産合計	76,128	74,953
無形固定資産	1,325	1,248
投資その他の資産		
投資有価証券	8,121	8,137
繰延税金資産	745	641
その他	2,198	2,056
貸倒引当金	△254	△206
投資その他の資産合計	10,811	10,628
固定資産合計	88,265	86,830
繰延資産	3	—
資産合計	174,435	181,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,408	19,707
短期借入金	13,515	15,103
コマーシャル・ペーパー	3,000	3,000
1年内償還予定の社債	20	20
1年内返済予定の長期借入金	3,294	2,873
未払法人税等	2,705	1,685
賞与引当金	1,653	1,886
災害損失引当金	170	13
その他	5,351	6,152
流動負債合計	48,119	50,442
固定負債		
社債	5,060	5,050
長期借入金	14,831	16,511
繰延税金負債	843	635
退職給付引当金	1,756	1,851
役員退職慰労引当金	400	376
その他	203	162
固定負債合計	23,095	24,587
負債合計	71,215	75,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	76,399	79,325
自己株式	△1,745	△1,745
株主資本合計	106,187	109,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040	1,100
繰延ヘッジ損益	159	△344
為替換算調整勘定	△9,063	△8,880
その他の包括利益累計額合計	△7,863	△8,123
少数株主持分	4,896	5,319
純資産合計	103,220	106,307
負債純資産合計	174,435	181,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	107,643	116,520
売上原価	84,900	96,231
売上総利益	22,743	20,289
販売費及び一般管理費	14,459	14,275
営業利益	8,283	6,013
営業外収益		
受取配当金	88	91
為替差益	82	23
その他	149	219
営業外収益合計	320	334
営業外費用		
支払利息	361	323
その他	157	126
営業外費用合計	519	449
経常利益	8,084	5,897
特別損失		
固定資産処分損	154	87
投資有価証券評価損	484	55
災害による損失	—	32
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	675	175
税金等調整前四半期純利益	7,408	5,722
法人税、住民税及び事業税	2,155	1,614
法人税等調整額	89	△64
法人税等合計	2,244	1,549
少数株主損益調整前四半期純利益	5,164	4,172
少数株主利益	309	215
四半期純利益	4,855	3,956

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,164	4,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	58
繰延ヘッジ損益	△473	△504
為替換算調整勘定	△1,606	206
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	4
その他の包括利益合計	△2,163	△234
四半期包括利益	3,001	3,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,781	3,692
少数株主に係る四半期包括利益	219	245

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,408	5,722
減価償却費	4,602	4,336
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	133	84
受取利息及び受取配当金	△100	△110
支払利息	361	323
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,392	△1,759
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,660	△4,312
仕入債務の増減額 (△は減少)	831	1,113
その他	△126	△20
小計	8,056	5,378
利息及び配当金の受取額	99	105
利息の支払額	△372	△326
法人税等の支払額	△3,078	△2,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,706	2,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,777	△2,829
その他	△411	△567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,188	△3,396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	46	1,536
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	6,000	—
長期借入れによる収入	—	2,705
長期借入金の返済による支出	△880	△1,439
社債の発行による収入	5,000	—
社債の償還による支出	△10,010	△10
配当金の支払額	△1,289	△1,031
その他	359	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△773	1,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△198	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△455	864
現金及び現金同等物の期首残高	7,873	6,842
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	554	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,973	7,702

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製パン 素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,242	46,239	19,161	107,643	—	107,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,524	35	172	4,732	(4,732)	—
計	46,766	46,275	19,334	112,376	(4,732)	107,643
セグメント利益(営業利益)	3,428	3,996	857	8,283	—	8,283

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位: 百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	75,739	16,957	8,812	6,135	107,643	—	107,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	16,119	350	—	16,525	(16,525)	—
計	75,795	33,076	9,162	6,135	124,168	(16,525)	107,643
セグメント利益(営業利益)	4,988	1,929	910	360	8,188	95	8,283

(注) 1 国又は地域の区分の方法………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア: シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア

米州: 米国

欧州: ベルギー

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製パン 素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,184	48,039	18,296	116,520	—	116,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,286	67	387	6,741	(6,741)	—
計	56,471	48,107	18,683	123,262	(6,741)	116,520
セグメント利益(営業利益)	2,076	2,831	1,105	6,013	—	6,013

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	81,661	18,166	9,355	7,337	116,520	—	116,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54	17,918	287	11	18,270	(18,270)	—
計	81,715	36,084	9,642	7,349	134,791	(18,270)	116,520
セグメント利益(営業利益)	4,526	746	418	202	5,893	119	6,013

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、
タイ
米州:米国
欧州:ベルギー

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成24年3月期 第2四半期 決算補足資料

二つとない、をつくる。



1

目次

1. 連結 第2四半期業績
 - (1) 連結 損益概要
 - (2) 連結 油脂部門損益
 - (3) 連結 製菓・製パン素材部門損益
 - (4) 連結 大豆たん白部門損益
 - (5) 連結 地域別損益
 - (6) 連結 貸借対照表
 - (7) 連結 キャッシュ・フロー
 - (8) 連結 指標
2. 連結 通期予想
 - (1) 連結 通期予想
 - (2) 連結 セグメント別通期予想
 - (3) 連結 地域別通期予想
3. 単体 第2四半期業績・通期予想

※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。

※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1－(1) 連結 損益概要

(単位: 億円)

		10年度 第2四半期	11年度 第2四半期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	422	502	+79	+18.8%
	製菓・製パン素材	462	480	+18	+3.9%
	大豆たん白	192	183	▲9	▲4.5%
	合計	1,076	1,165	+89	+8.2%
営業利益	油脂	34	21	▲14	▲39.4%
	製菓・製パン素材	40	28	▲12	▲29.2%
	大豆たん白	9	11	+2	+28.9%
	合計	83	60	▲23	▲27.4%
営業利益率		7.7%	5.2%	▲2.5p	—
経常利益		81	59	▲22	▲27.1%
四半期純利益		49	40	▲9	▲18.5%
四半期包括利益		30	39	+9	+31.2%

3

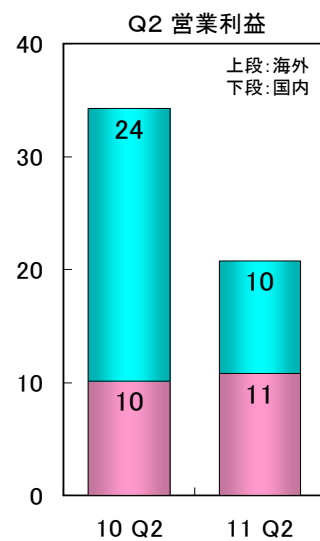
1－(2) 連結 油脂部門損益

(単位: 億円)

	10年度 Q2	11年度 Q2	対前期	
			増減額	増減率
売上高	422	502	+79	+18.8%
営業利益	34	21	▲14	▲39.4%

【業績サマリー】

- 国内外ともに原料価格が高値で推移し増収となったが、採算面ではチョコレート用油脂などが苦戦し減益。
- 国内市場ではヤシ油・パーム油関連製品の販売数量が好調に推移し増収・増益。
- 海外市場では原料価格が高値で推移し増収となったが、チョコレート用油脂の採算悪化などにより減益。



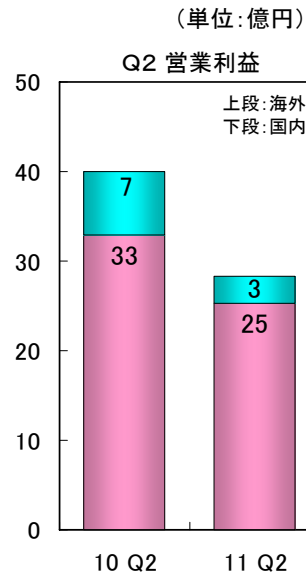
4

1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

	10年度 Q2	11年度 Q2	対前期	
			増減額	増減率
売上高	462	480	+18	+3.9%
営業利益	40	28	▲12	▲29.2%

【業績サマリー】

- 国内外ともに販売数量・売上高は増加し増収となったが原料価格の上昇などにより採算は悪化し減益。
- 国内市場では業務用チョコレートの販売減少ならびに、原料価格の上昇により採算が悪化し減益。
- 東南アジア市場での業務用チョコレート、マーガリンなどが好調に推移し増収となったが、原料価格の上昇により採算が悪化し減益。



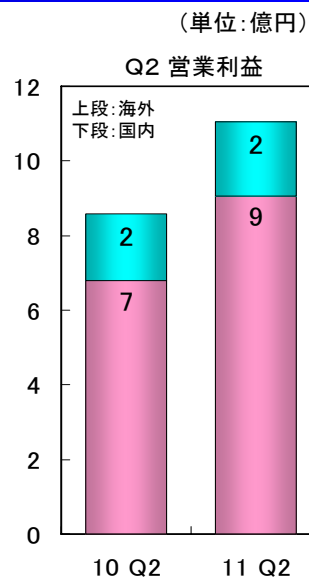
5

1-(4) 連結 大豆たん白部門損益

	10年度 Q2	11年度 Q2	対前期	
			増減額	増減率
売上高	192	183	▲9	▲4.5%
営業利益	9	11	+2	+28.9%

【業績サマリー】

- 大豆たん白素材は販売子会社の合併契約解消により売上高は減少したが、冷食・惣菜用途・加工食品用途が好調に推移し減収・増益。
- 大豆たん白機能剤は加工食品用途・発酵培地用途の販売数量は増加したが、販売価格下落により減収・増益。
- 豆乳は前年同期を上回る売上高により黒字を確保。



6

1-(5) 連結 地域別損益

(単位: 億円)

		10年度 第2四半期	11年度 第2四半期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	757	817	+59	+7.8%
	アジア	170	182	+12	+7.1%
	欧米	149	167	+17	+11.7%
	合計	1,076	1,165	+89	+8.2%
営業利益	日本	50	45	▲5	▲9.3%
	アジア	19	7	▲12	▲61.3%
	欧米	13	6	▲7	▲51.2%
	消去	1	1	+0	+26.1%
	合計	83	60	▲23	▲27.4%

日 本: 増収となったが、業務用チョコレートなどの販売減少・原料高等の影響を受けて減益。

アジア: 油脂精製部門の採算悪化、原料価格・エネルギーコスト上昇の影響を受けて減益。

欧 米: チョコレート用油脂の採算悪化などにより減益。

7

1-(6) 連結 貸借対照表

(単位: 億円)

	10年度末	11年度 Q2末	対前期末	
流動資産	862	945	+83	流動資産の増加 ・売掛債権の増加 21億円 ・たな卸資産の増加 44億円
固定資産	883	868	▲14	固定資産の減少 ・有形固定資産の減少 ▲12億円 設備投資 33億円 減価償却費 ▲41億円 除売却 ▲5億円 円高換算増加 1億円 ・無形固定資産の減少 ▲1億円 ・投資その他資産の減少 ▲2億円
資産合計	1,744	1,813	+69	
有利子負債	397	426	+28	有利子負債の増加 ・単体 18億円 ・グループ会社 10億円
その他負債	315	325	+10	
負債合計	712	750	+38	
純資産合計	1,032	1,063	+31	純資産の増加 ・利益剰余金の増加 29億円 当期純利益 40億円 配当金 ▲10億円 ・その他包括利益累計額の減少 ▲3億円 ・少数株主持分の増加 4億円

8

1-(7) 連結 キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	10年度 Q2	11年度 Q2	対前期
税引前四半期純利益	74	57	▲17
減価償却費	46	43	▲3
他増減	▲73	▲75	▲2
営業キャッシュ・フロー	47	25	▲22
投資キャッシュ・フロー	▲42	▲34	+8
フリー・キャッシュ・フロー	5	▲9	▲14
借入金等による調達・返済	2	28	+26
配当支払・自己株取得等	▲9	▲11	▲2
財務キャッシュ・フロー	▲8	17	+25
現金及び現金同等物増減	換算差額含む ▲5	換算差額含む 9	+13
新規連結・連結除外に伴う増減	6	▲0	▲6
現金及び現金同等物残高	80	77	▲3

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

9

1-(8) 連結 指標

(単位: 億円)

	08通期	09Q2	09通期	10Q2	10通期	11Q2
設備投資額	94	37	78	36	76	33
減価償却費	94	44	92	44	88	41
有利子負債	558	532	446	440	397	426
純資産(少持除く)	841	894	942	957	983	1,010
1株当たり純資産	979円	1,040円	1,096円	1,113円	1,144円	1,175円
総資産	1,721	1,739	1,743	1,750	1,744	1,813
自己資本比率	48.9%	51.4%	54.0%	54.7%	56.4%	55.7%
D/Eレシオ	0.66	0.60	0.47	0.46	0.40	0.42
ROE	8.9%	11.0%	12.0%	10.2%	10.2%	8.0%
ROA	5.8%	8.6%	10.0%	9.2%	9.3%	6.6%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。

・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/Eレシオ＝有利子負債÷純資産(少数株主持分除く)

・ROE＝当期純利益÷純資産(Q2指標は、年換算しています。)

・ROA＝経常利益÷総資産(Q2指標は、年換算しています。)

10

2-（1） 連結 通期予想

（単位：億円）

	10Q2 実績	10通期 実績	11Q2 実績	対前年 同期	11通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	1,076	2,227	1,165	+89	2,486	+259	+50
営業利益	83	166	60	▲23	134	▲32	▲25
経常利益	81	162	59	▲22	130	▲32	▲23
四半期（当期）純利益	49	98	40	▲9	83	▲15	▲14

（注）平成23年5月9日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。

11

2-（2） 連結 セグメント別通期予想

（単位：億円）

		10Q2 実績	10通期 実績	11Q2 実績	対前年 同期	11通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	油脂	422	896	502	+79	1,083	+187	+53
	製菓・製パン素材	462	958	480	+18	1,030	+72	+6
	大豆たん白	192	373	183	▲9	373	▲0	▲9
	合計	1,076	2,227	1,165	+89	2,486	+259	+50
営業利益	油脂	34	65	21	▲14	39	▲26	▲17
	製菓・製パン素材	40	82	28	▲12	74	▲8	▲8
	大豆たん白	9	18	11	+2	21	+3	—
	合計	83	166	60	▲23	134	▲32	▲25

（注）平成23年5月9日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。

12

2-(3) 連結 地域別通期予想

(単位:億円)

		10Q2 実績	10通期 実績	11Q2 実績	対前年 同期	11通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	日本	757	1,561	817	+59	1,710	+149	+10
	アジア	170	349	182	+12	423	+74	▲14
	欧米	149	317	167	+17	353	+36	+54
	合計	1,076	2,227	1,165	+89	2,486	+259	+50
営業利益	日本	50	111	45	▲5	108	▲3	▲2
	アジア	19	31	7	▲12	16	▲15	▲18
	欧米	13	22	6	▲7	9	▲13	▲6
	消去	1	2	1	+0	1	▲1	+1
	合計	83	166	60	▲23	134	▲32	▲25

(注) 平成23年5月9日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。

13

3 単体 第2四半期業績・通期予想

(単位:億円)

	10Q2 実績	10通期 実績	11Q2 実績	対前年 同期	11通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	640	1,344	702	+63	1,497	+152	+5
営業利益	46	105	40	▲6	100	▲5	▲4
経常利益	47	107	41	▲6	102	▲5	▲4
四半期(当期)純利益	23	64	24	+1	61	▲3	▲3

(注) 平成23年5月9日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。

14